



# アットフィールズクラウド MES システム セキュリティホワイトペーパー

1.1 版

アットフィールズテクノロジー株式会社

## 1 利用者との責任分界点

### 当社の責任

当社は、以下のセキュリティ対策を実施します。

- クラウド MES アプリケーションのセキュリティ対策
- クラウド MES アプリケーションに保管されたお客様データの保護
- クラウド MES アプリケーションの提供に利用するミドルウェア、OS、その他インフラのセキュリティ対策

### お客様の責任

お客様は、以下のセキュリティ対策を実施する必要があります。

- 各利用者に付与されたパスワードの適切な管理
- クラウド MES アカウントの適切な管理(登録、削除、組織管理者権限の付与など)
- クラウド MES に格納されたお客様データの管理

| お客様責任範囲                      | サービス内に格納されたお客様データ          |
|------------------------------|----------------------------|
| 当社責任範囲                       | アプリケーション(MES)              |
|                              | ミドルウェア                     |
|                              | OS                         |
|                              | 仮想サーバ                      |
| クラウド基盤提供ベンダ<br>責任範囲<br>(AWS) | ハイパーバイザー                   |
|                              | 物理機器(サーバ、ネットワーク、ストレージ、UPS) |
|                              | ファシリティ(電源設備、空調、セキュリティ機器)   |
|                              | 土地・建屋                      |

責任分界点イメージ

## 2 データ保管場所

- 本サービスで保存されるデータは、Amazon Web Services(AWS)の東京リージョンに配置されており、すべて日本国内で管理されています。

### 3 データの削除

- お客様がクラウド MES 上で生成・保管されたデータを削除した場合、その操作内容に基づき、当該データは速やかにデータベースから消去されます。また、お客様の操作により削除されたデータは、データベース上から完全に消去されるため、削除後に復元することはできません。
- クラウド MES の利用契約が終了した場合、契約終了時点でサービス提供は即時に停止されます。また、当社がお預かりしているお客様データについては、契約終了時点をもってすべて消去されます。必要なデータがある場合は、契約終了までにお客様ご自身で取得していただく必要があります。

### 4 ラベル付け機能

#### 全般

お客様は以下の項目に対して任意に値を設定または変更することができます。

- ☐ ユーザ ID
- ☐ ユーザ名
- ☐ 部門名
- ☐ 言語
- ☐ 使用グループ
- ☐ 権限

### 5 利用者登録および削除

- お客様は契約の範囲内において、ユーザの登録・削除を行うことができます。

#### 【操作手順書】

マスタメンテ画面使用手順書.xlsx の「10. ユーザマスタ」シート

- ☐ 新規ユーザ(従業者)を登録する  
「10-3. 新規登録画面」
- ☐ ユーザを削除する  
「10-4. 編集画面」

## 6 アクセス権の管理

- お客様は、登録したユーザの権限を付与できます。組織管理者権限を付与することで、管理画面にアクセスすることが可能です。

### 【操作手順書】

- ユーザの権限を変更する  
マスタメンテ画面使用手順書.xlsx の「10. ユーザマスタ」シート  
「10-4. 編集画面」

## 7 パスワードの配布方法

- 新規ユーザの登録に併せて初期パスワードが作成されます。新規ユーザの初期パスワードは、お客様管理者より任意の方法で配布していただきます。

### 【参考】

- ユーザ管理業務フロー  
マスタメンテ画面使用手順書.xlsx の「参考. ユーザ管理業務フロー」シート

- お客様は自らパスワードの変更をすることが可能です。

### 【操作手順書】

- パスワードを変更する  
マスタメンテ画面使用手順書.xlsx の「11. パスワード変更」シート  
「11-1. パスワード変更画面」

- お客様がパスワードを忘れた場合、自らパスワードを再設定することはできません。お客様管理者へパスワードの再設定を依頼します。その後、自身でパスワードを変更します。

### 【参考】

- パスワードを再設定する  
マスタメンテ画面使用手順書.xlsx の「参考. ユーザ管理業務フロー」シート

## 8 暗号化の状況

### 全般

- データベースに保管されるお客様のデータ(ユーザ情報、各機能で利用するデータなど)は、AWS EBS に格納され、暗号化(EBS Encryption)された状態で保管されます。  
<https://docs.aws.amazon.com/ebs/latest/userguide/ebs-encryption.html>
- お客様の端末とシステム間のインターネット通信は、SSL/TLS により暗号化されています。対応するプロトコルは TLS 1.3 以降(SHA256 以上) となります。

## 9 変更管理

- サービスのバージョンアップ情報をはじめとする、各種変更に関する情報は、サービス登録時に当社にご提供いただいたメールアドレスに対してメールにてご連絡いたします。

### 変更に関する情報

- リリース作業： お客様と調整して、日時を決定
  - ・機能の変更、廃止(画面変更、UI 変更、既存機能の提供終了など)
- メンテナンス作業： 原則 1～2 週間前までに作業日、作業内容を連絡する。作業数日前に、リマインドとして連絡する。
  - ・メンテナンス作業(パッチ適用、基盤更改、ネットワークメンテ、DB メンテなど)
  - ・緊急変更(重大障害対応、重大脆弱性対応など)
- メンテナンス後作業： お客様に作業完了連絡を実施

## 10 手順書の提供

- お客様が利用できる手順書は、メンテナンスメニューより閲覧できます。ただし、参照できるのは管理者権限を有するユーザに限ります。

## 11 バックアップの状況

### 全般

- データベースに保管される、お客様の各種情報(ユーザ情報、登録データなど)は、日次でバックアップを取得しています。バックアップは、2 世代分保管されます。
- ただし、お客様からのバックアップデータ復元等のご要望には対応しておりません。

## 12 ログのクロックに関する情報

---

- クラウド MES システム内で提供されるログは、タイムゾーン JST(UTC+9)で提供されます。
- ログの時刻は、AWS が提供する NTP サービス(Amazon Time Sync Service)と同期しています。

## 13 脆弱性管理に関する情報

---

- クラウド MES システムは第三者機関による WEB アプリケーションの脆弱性診断を受けています。
- システムで利用している OS、ミドルウェア等に関する脆弱性情報を、定期的に収集しています。
- システムで利用しているコンポーネントに対する脆弱性パッチが公開された場合は、テスト環境での検証を経た後、速やかに適用されます。
- 当社側で対応が必要となった場合は、メールにて通知いたします。
- また、利用者側で対応が必要となる脆弱性情報があった場合にも、メールにて通知いたします。

## 14 開発におけるセキュリティ情報

---

- クラウド MES システムの開発は、社内で定められたコーディング規約に従って実施しています。  
また、第三者機関によるセキュリティ診断を実施しています。

## 15 インシデント発生時の対応

---

- お客様に大きな影響を与えるセキュリティインシデント(データの消失、長時間のシステム停止等)が発生した場合は、インシデント発生から 24 時間以内を目標に、ご提供いただいた組織管理者のメールまたは電話にて速やかにご連絡いたします。
- 情報セキュリティインシデントに関する問合せは、契約時の当社サービス窓口担当者をお願いいたします。

## 16 お客様データの保護及び第三者提供について

---

- お客様からお預かりしたデータを適切に保護することは、当社の責任です。ログデータを含むお客様データは、不正なアクセスや改ざんを防ぐため、当社開発チーム内の必要最小限の担当者のみがアクセスできる、限られたアクセス権のもとで保管されます。
- ただし、裁判所からの証拠提出命令など、法的に認められた形でお客様データの提供を要請された場合、当社は、お客様の事前承諾なく、必要最小限の範囲で、お客様データを第三者に提供する場合があります。情報提供を行った場合は、その旨を速やかにご連絡いたします。

## 17 適用法令

- お客様と当社との間の契約は、利用規約(第 26 条)のとおり、日本法に基づいて解釈されるものとします。

## 18 認証

- 当社は、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS 適合性評価制度における、ISMS 認証 を取得しています。  
<https://isms.jp/1st/ind/>
- 当社は、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS 適合性評価制度における、ISMS クラウドセキュリティ認証 を取得しています。  
<https://isms.jp/isms-cls/1st/ind/>

### 【ISMS 認証登録範囲】

- ・ 製造分野におけるアプリケーションソフトウェア開発およびインフラシステム構築
- ・ 製造分野のデータ収集および解析サービス
- ・ 製造技術分野における工法開発/設備構築

適用宣言書 : Ver.1.1

### 【ISMS クラウドセキュリティ認証登録範囲】

- ・ クラウド MES の提供に係るクラウドサービスプロバイダとしてのシステム開発・運用・保守、及びアマゾンウェブサービスのクラウドサービスカスタマとしての利用に係る ISMS クラウドセキュリティマネジメントシステム

## 19 外部クラウドサービスの利用

- 当社では、以下の機能を提供・運用するために、外部のクラウドサービスを利用しています。

| クラウドサービス | 機能        | 運営会社                   | 情報           |
|----------|-----------|------------------------|--------------|
| AWS      | インフラ構築,運用 | Amazon Web Service,Inc | ユーザ ID,生産データ |
|          |           |                        |              |

## 本資料のお問い合わせ

### ○ クラウド MES 導入済のお客様

ご連絡済みの当社窓口担当者までお問い合わせください。

アットフィールドズテクノロジー株式会社 クラウド MES サービス担当

### ○ クラウド MES 導入をこれから検討されているお客様

当社お問い合わせページのフォームよりご連絡をお願いいたします。

<https://atfields.com/contact>

## 改訂履歴

| 版   | 改訂日        | 改訂内容                                 |
|-----|------------|--------------------------------------|
| 1.0 | 2026/7/28  | 初版発行                                 |
| 1.1 | 2026/10/16 | ISMS クラウドセキュリティ認証取得のため、「18 認証」の項目を修正 |
|     |            |                                      |